



今原 ゆかり 議員

防災行政について

問 大規模な災害が発生すると、学校の体育館には多くの避難者が押し寄せる。このような時に、新型コロナウイルスなどの感染症が流行していると、体育館だけでは感染リスクを高めることになる。教室なども避難所として使用していく必要があると考えるが。

答 「みんなで考える避難所づくり」と題した避難所運営に関する検討会を実施。感染症への予防対策として、体育館については、備蓄しているパーテーション等を活用し、対面にならないようレイアウトの工夫をする。教室についても避難者の状況に応じ、段階的に避難所として活用できるよう教育委員会に依頼し、学校関係者と調整を重ねていきたい。

問 避難所におけるペット対策について市の考えは。

答 避難所運営マニュアルでは、「ペットの飼育について」と題した案内も作成している。吉

浜小学校については、ペットの飼育場所を決めるなど調整を進めてきた。他の避難所についても取り組んでいきたい。

問 昨年9月に一般質問した乳児用液体ミルクは、今年1月頃に更新する予定とのことだったが、備蓄食料として加えていただけなのか。

答 福祉避難所で備蓄するミルクは、粉ミルクでの更新となった。液体ミルクについても、災害時の備蓄品として効果が高いと考え、従来の粉ミルクに追加する形で、1箱24缶試行的に購入した。防災倉庫とは別の一定の温度管理ができる場所で備蓄をしている。

問 現在、マンホールトイレが設置されている避難所と基数は。

答 公共下水道が供用開始され、マンホールトイレを設置するための下水道接続工事が終了している5つの小、中学校で設置可能な状況となっている。高浜小学校、港小学校、翼小学校、高浜中学校、南中学校。各学校の防災倉庫には5基のマンホールトイレと専用テントを備蓄。他にも、さわたり夢広場と論地どんぐり公園にも3基のマンホールトイレが設置可能。全体では31基となる。



神谷 直子 議員

新型コロナウイルス感染症について

問 高浜市役所職員の働き方については。

答 時差勤務、在宅勤務、分散勤務など工夫をしている。

問 新しい生活様式に対して行政としての考え方は。

答 職員が取り組むべき姿勢、各施設の取り扱い方、行政組織としてのとり組み方など項目ごとにまとめている。

問 三密の発生しやすい屋内施設の取扱いは。

答 貸出部屋の規模に応じ利用人数に自主基準を設け、利用者全員の情報把握、部屋の換気の徹底、施設の出入口に手指消毒液設置を行う。

問 特別定額給付金事業については。

答 申請方法が「郵送」、マイナンバー利用の「オンライン」と2種類が原則のところ、手書きでの受付も行い、給付は早い方で5月15日。6月24日までに市内93%給付完了予定。

問 議会より、5月1日付にて市長に要望書を提出し、事業の見直し、予算の組み替えにて経

済施策をお願いした。その対応については。

答 事業費削減や歳出予算の組み替えなど、9月、12月の定例会にて議会に示していく。

問 市役所窓口での対応について。

答 窓口では、ビニールシートを設置し、3つの密を避け、出入口に手指消毒液設置、換気の徹底、待合用のいすを間引き、記載台を設置した。接触感染を防ぐため、カルトンを使用。

問 休業協力金の申請、給付の状況は。

答 愛知県の休業要請に応じ、県と市で各25万円、計50万円の協力金で、申請が157件、156件は6月9日に支払う。また、理美容業者の協力金は県と市で各10万円、計20万円で対象が65件。7月6日より支払い予定。

問 アフターコロナ、ウイズコロナとして考えていることは。

答 市役所1階窓口の混雑を緩和するため、マイナンバーカードの普及をしていく。

問 市独自のひとり親家庭の支援策として、児童扶養手当に市として1万円上乗せ、国のひとり親世帯臨時特別給付金の支払いは。

答 児童扶養手当受給世帯に5万円、子ども1人あたり3万円増。ひとり親世帯に5万円支給。